

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNO.

事業・工事名

シートNO.

ボーリング名	B-P5(No.264+10.5 L6.0)		調査位置			北緯	36° 35' 35.0000"	
発注機関	栃木県宇都宮土木事務所		調査期間	2010-09-17 ~ 2010-09-18		東経	139° 52' 12.0000"	
調査業者名			主任技師			現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	148.64 m	角度		方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種
総掘進長	10.10 m							エンジン
								ハンマー 落下用具 ポンプ

標尺	標高	層厚	深度	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 ／ 測定月日	標準貫入試験					原位置試験 深度 (m)	試験名 および結果	試験 番号	採取 方法	室内 試験	掘進 月日					
												深度 (m)	10cmごとの 打撃回数			打撃回数 ／ 貫入量 (cm)							N値				
													0 10	10 20	20 30												
(m)	(m)	(m)	(m)																								
1					盛土 (BS)	暗褐			黒ボク、粘土主体 含水やや少なく、少量の礫が点在する 0.70m以深、礫を多く混入する		09/18 1.05	1.15	1	15	1	1	35	3									
2	146.54	2.10	2.10		黒ボク (Kb)	黒褐			含水中位、粘性やや小さい		09/17 1.89	1.50	1	35			1	35	1								
3	145.89	0.65	2.75		砂混り火山灰質粘土 (V)	茶褐			含水やや多く、粘性大きい 全体に不均質で、不規則に細砂を混入する 所々微量の礫が点在する			2.15	1	35			2	35	2								
4	145.04	0.85	3.60		砂混り粘土 (CH-S)	淡褐灰			含水多く、粘性やや大きい ほぼ均質で少量の細砂を混入する 少量の礫が点在する			2.50	1	20	1		2	30	2								
5	143.59	1.45	5.05		凝灰岩 (TT)	淡灰			全体に固結状を呈し、柱状コアとなる 亀裂はほとんど無く φ5～20mm程度の礫を点在する			3.15	1	15	1	1	3	35	3								
6												3.45	1	15	1	1	3	35									
7												4.15	1	15	1	1	3	35									
8												4.50	1	15	1	1	3	35									
9												5.15	19	26	1	50	21	>50						09/17			
10	138.54	5.05	10.10									5.36	50	8		50	8	>50						09/18			
												6.15	50	8		50	8	>50									
												6.23	50	7		50	7	>50									
												7.15	40	1	10	50	11	>50									
												7.22	37	2	13	50	12	>50									
												8.00	13	2	50	10	>50										
												8.11	50	10		50	10	>50									
												9.00	37	2	50	12	>50										
												9.12	50	10		50	10	>50									
												10.00	50	10		50	10	>50									
												10.10	50	10		50	10	>50									